

政策調整会議の概要

開催日 平成 23 年 1 月 13 日 (木)

◎項 目

- 1 3月の広報計画について【総務部】
- 2 韓国で発生している口蹄疫の感染防止対策について【危機管理部・農業振興部】
- 3 その他

◎内 容

1 3月の広報計画について

総務部から3月の広報計画(案)について説明を行った。

【概要】

- ・3月の広報紙「さんSUN高知」の特集では、3月5日から開幕する「志国高知 龍馬ふるさと博」について取り上げる。また、県政ピックアップでは、今年の地場産業大賞の結果について紹介する。また、広告欄では、子宮頸がんワクチン接種の取り組みを取り上げ、周知徹底を図っていききたい。
- ・30分の特別番組は「志国高知 龍馬ふるさと博」の開幕までの動きを盛り込んだ番組の放送を中旬に予定しており、下旬には再放送を行う。
- ・テレビの「おはようこうち」では、6日は全国体力テストの結果を踏まえた学校現場での体力・運動能力向上の取り組みについて、13日は3月中に供用開始となる高速道路須崎西IC～中土佐IC間及び香南やすIC～芸西西IC間について、20日は「志国高知 龍馬ふるさと博」のPRについて、27日はドクターヘリの導入について取り上げる。
- ・ラジオの対談番組は、1日は「目指せ！弥太郎 商人塾」の1年間の取り組みと3月15日に開催予定の報告会について、8日と15日は「志国高知 龍馬ふるさと博」の会場となる牧野植物園と坂本龍馬記念館について、10日は3月14日に開催される高知競馬・黒船賞について、17日はまるごと高知の半年間の成果を踏まえた取り組みについて、22日は体力・運動能力向上の取り組みについて、24日はドクターヘリ導入について、29日は新図書館の整備に向けた報告について、31日は産業振興計画の改定について取り上げる。
- ・「県民ニュース」の重点的な読み上げ形式では、「志国高知 龍馬ふるさと博」のPRと図書館整備に対するパブリックコメント募集について、対談形式では、牧野植物園で開催されるイベントと4月1日から施行される暴力団排除条例について取り上げる。

【意見】

- ・3月の広報は龍馬ふるさと博が中心になると思うが、「おはようこうち」での放送が20日というのは遅くないか。13日と入れ替えてはどうか。(副知事)

→13日と入れ替えが可能か調整してみる。

2 韓国で発生している口蹄疫の感染防止対策について【危機管理部・農業振興部】

口蹄疫の感染防止対策について危機管理部及び農業振興部から説明を行った。

【概要説明】

- ・昨年末から1月にかけて、韓国では口蹄疫の感染が広がっているため、現在の発生状況とそれに対する感染防止対策及び本県で発生した場合の防疫体制の再確認等のため、1月12日に部局連絡員会議を開催した。
- ・韓国の口蹄疫は昨年6月頃に一旦終息したものの、11月末に再度発生し、豚を中心に12月27日には44万頭、1月4日には78万頭、1月11日には140万頭まで拡大している。今後、牛、豚に対

しワクチン接種を開始するようだが、全体で約1,000万頭飼育されているため、いつ終息するかは分からない状況である。

- ・本県の対応として、宮崎県での口蹄疫発生後、農場の消毒は継続して実施している。また、地域の緊急防疫会議や地域の防疫会議を開催し、侵入防止対策の周知徹底や机上防疫演習を実施した。また、畜産関係者の発生国への渡航自粛や関係者以外の立入の際における防疫の徹底などについて文書で依頼を行っている。
- ・空海陸路への対応として、まず空路では、動物検疫所が海外便の入国者の靴底消毒等を実施しており、高知龍馬空港でも直行便については同様の対応を行っている。また、国内の主な国際空港（羽田空港、関西空港、福岡空港）でも同様の対応により、海外からの入り口部分での消毒が行われているため、現在、高知龍馬空港における県独自の消毒体制の構築は行っていない。また、海路における海外からの旅客についても動物検疫所が消毒を行っている。なお、貨物船の乗組員の靴底消毒については、国内全部の港で動物検疫所が消毒する体制を取るの難しいため、本県では高知新港と須崎港について海運事業者任意依頼という形で進めているが、佐賀県と宮崎県では県として実施している。空路、海路の入り口で消毒が実施されていること、農場での消毒や立ち入りで制限等が実施されていることから、国としても現在は陸路での特別な消毒体制は構築していない。
- ・四国他県の状況は、香川県のみ対応事例があり、空港の消毒マットを大きくしてもらおうよう要望したことと、韓国への出国者に対して注意喚起のビラを配布した。

【意見】

- ・口蹄疫対策については知事からも水際対策に万全を期すように言われている。九州では県として対応をしているのであれば、高知県でも体制を取る必要があるのではないかと。消毒マットや消毒液を提供するなど、県が手当てをして対応していかなければならないのではないかと。（副知事）
- 県独自の対応ということであれば、残る貨物船への水際対策をどうするかであるが、（先ほど説明したように）両港への海運事業者への協力に対応（消毒を実施）することで調整中。なお、その際の消毒資機材については、県で準備することで協議をしている。

3 その他

- ・「志国高知 龍馬ふるさと博」の名刺台紙ができた。各部局でも使っていただき、PRをよろしくお願ひしたい。（観光振興部）